

III 症状ごとの対応

# 7. 頭を打ったとき



頭を強く打っても、頭の骨に骨折がなく、目や手足の動きや意識に異常がなければ、あわてずに、平日の昼間などを待って受診しても、たいていは心配ありません。

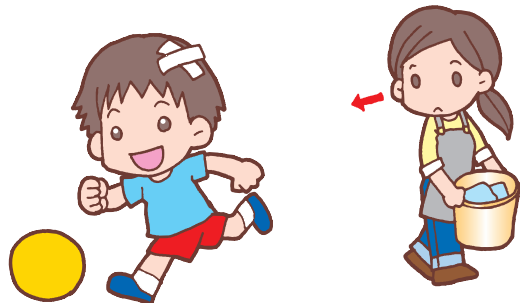
## 頭を打った後の状態に注意しましょう。

- 大声で泣く。
- けいれん、吐き気がない。意識もしっかりしている。
- 打った場所にへこみがない。出血は止まっている。

以上の3つを満たしており、泣き止んでけろりとしていれば、たいていは大丈夫です。



ただし、徐々に症状が出てくることもあるので  
**48時間は慎重に様子を見てください。**



## + すぐ受診した方がよいとき

万が一、以下の症状があるときは、できるだけ早く、病院を受診して下さい。

- 頭の痛みが強くなるとき。
- けいれんが起きたとき
- 吐き気が繰り返して見られたり、気持ち悪さが続くとき。
- 意識消失があったり、頭を打った後すぐ泣かなかったとき。
- ぼんやりしてきて、ほおっておくと眠ってしまうとき。
- 頭を打った前後のことを覚えていないとき。
- 物が二重に見えたり、物が見えにくくなったとき。
- 手足が動きにくくなったり、しびれたりするとき。
- 体温がどんどん高くなってきたとき。
- 左右の瞳の大きさが違うとき。
- なんとなく普段とくらべて様子が違うとき。
- 耳や鼻から出血があるとき。

